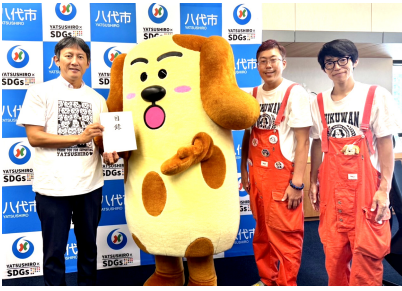


8月記録的大雨の被災地支援 「ちくワン」日奈久支部、八代市に寄付金



小野市長に寄付金を渡すちくワン

9月29日（月）八代市役所を訪れたのは、「ちくワン」日奈久支部のメンバー（松本啓佑氏、八島広樹氏）。

メンバーは、8月に八代市を襲った大雨による被害の復興の力になりたいとSNSなどを活用し、チャリティーTシャツを販売しました。

330着を売り上げるとともに、全国からの寄付も届き、約80万円の見積りを小野泰輔市長に手渡しました。小野市長からは、「被災者の皆さんに寄り添う温かい支援です」と感謝の言葉がありました。

今年の中秋の名月は、10月6日でした。観光客も多い4日（土）に開催されました。雨が上がり、午後7時から温泉センターばんべい湯前にて厳かに神事が行われました。大きな綱が高く積み、各町内の提灯に照らされていました。

午後7時30分になると、ドラの合図でホイホイのかけ声も勇ましく大綱が引き回されました。小中学生も多数参加し、温泉街を駆け回りました。ばんべい湯前に戻ってくると、約100人の参加者が二手に分かれ、ワッショイ！ワッショイ！のかけ声で大綱を引き合いました。

名月を仰ぎながら 綱を引き合って大歓声 日奈久十五夜綱引き



久留米より旅行で来た熟年のご夫婦は、旅館の人に綱引きがあるということを知って参加。男性が浴衣姿で参加しました。「子供の頃運動会で綱引きをしたぐらいで久しぶりに綱を引きました。きつかったけどとても楽しかったです。また温泉に浸かりたい」と笑顔一杯でした。子供たちはお菓子をもらい大喜びでした。

その二日後の中秋の名月の10月6日（月）、大坪町でも日奈久阿蘇神社の境内で十五夜綱引きが行われました。午後7時からの神事後、幼児から大人まで約60人が参加し、良く晴れて美しい月が照らす中、何度も綱引きを繰り返し、とても賑わいました。参加者は疲れも見せず笑顔でした。杉本萬樹町内長は、



子供対大人でも大接戦

◆主催 日奈久美術愛好会

◆会場 日奈久ゆめ倉庫

◆展示期間 11月16日（日）～24日（月・振休）

◆開館時間 午前9時～午後5時（最終日は午後4時まで）



子供対大人でも大接戦

「歴史ある行事を大切にしたいでないといけないと思います。人口減少もあるので、今後は複数の町内で協力しながら綱引きや綱引きをしていけたら良いと思います」と語りました。この綱は、10月15日に行われた日奈久阿蘇神社秋季例大祭の相撲の土俵に使われました。

新田町 北園百香子 組んでおられます。標語「いかのおすし（ついでに）いぬい・車にのらない・おききな声を出す・おごりくびる・（お）をい言葉に、誰もが犯罪にあわないようにしましょう。会場には日奈久小1年生のストラップのお礼の手紙と4・5・6年生のお礼の手紙が掲示してあり、心温まる婦人会との交流を感じました。



説明に聞き入る婦人会会員

婦人会ミニ集会 開催される

「歴史ある行事を大切にしたいでないといけないと思います。人口減少もあるので、今後は複数の町内で協力しながら綱引きや綱引きをしていけたら良いと思います」と語りました。この綱は、10月15日に行われた日奈久阿蘇神社秋季例大祭の相撲の土俵に使われました。



本岩 孝之 氏

◆その他 先着300人限定

◆主催 花と音楽の町日奈久

◆後援 八代市、日奈久住民自治会、湯の里日奈久振興会、日奈久温泉旅館組合、Team 1 Hinagu

◆問い合わせ先 林田正充 電話990-2515・7988

◆生活環境部会

・11月2日（日）午前7時から津森小学校遭難の碑広場の清掃を行います。ご協力をお願いします。

○事務局

・地域協議会地域活動発表会が11月1日（土）午後1時30分から八代市公民館（旧パトリアキ）大ホールで開催され、日奈久住民自治会を代表して篠原事務局長が発表します。

・11月8日、9日に第13回シニアサッカー歓迎レセプションの協力依頼がありました。

・日奈久中学校体育館の照明のLED化が行われる予定です。

11月の行事から

- 1日（土）地域活動発表会 日奈久中文化祭
- 3日（月）文化の日 本岩孝之コンサート
- 8日（土）～9日（日）シニアサッカー
- 15日（土）温泉神社例大祭
- 23日（日）勤労感謝の日
- 30日（日）ちくワン誕生祭

〈会議等〉

- 13日（木）市政協力員例会
- 17日（月）運営委員会
- 18日（火）広報部会

野田昌澄様より、亡母野田洋子様（塩北町）のご逝去に伴う香典返しとして、住民自治会へ寄付を頂きました。ありがとうございました。

おがまち日奈久ニュース

令和7年11月号
（第195号）
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
（9月末現在）
男 1,000人
女 1,208人
計 2,208人
（前月比-5人）
（2009年末3,444人）

「ありがとう」が
行き交うまち 日奈久
身近な人に「ありがとう」
愛する日奈久に「ありがとう」
訪れる人に「ありがとう」



11月の行事から

- 1日（土）地域活動発表会 日奈久中文化祭
- 3日（月）文化の日 本岩孝之コンサート
- 8日（土）～9日（日）シニアサッカー
- 15日（土）温泉神社例大祭
- 23日（日）勤労感謝の日
- 30日（日）ちくワン誕生祭

〈会議等〉

- 13日（木）市政協力員例会
- 17日（月）運営委員会
- 18日（火）広報部会

野田昌澄様より、亡母野田洋子様（塩北町）のご逝去に伴う香典返しとして、住民自治会へ寄付を頂きました。ありがとうございました。

第26回「九月は日奈久で山頭火」閉幕

9月いっぱい多彩な催しで魅了した「九月は日奈久で山頭火」が、閉幕しました。ちくワン効果もあって、遠くは愛知県からの参加者もあり、様々なイベントに笑顔の輪が広がっていました。

山頭火（池田正一さん）の案内で「ふく福めぐり」

9月21日（日）は素晴らしい天気に恵まれ、日奈久の神様巡りをしました。案内役は90歳を超えても元気な池田正一さん。山頭火の衣装を身にまとい、軽妙な案内に29人の参加者も笑顔で聞き入っていました。福岡県から14人が参加され、愛知県から駆けつけた方もおられました。途中5力所でクイズが行われ、当選者は大喜びでした。ポイントが最多の太田裕子さん（福岡県）が温泉フリーパス券を獲得しました。



9月28日（日）も天気に恵まれ、出発点のゆめ倉庫に集まったのは36人。八代小4年の阪口結仁くんの頑張ろうコールで、二見の龍神さんを目指してスタートしました。美しい天草の島々を眺めながら、往復約10キロのウォーキングを楽しみました。途中湯茶の接待もあり、参加者はほっと一息つきました。



天草の島々を眺めながらのウォーキング

【俳句入賞作品】

【大賞】

爽やかに音楽祭の服選ぶ

太江田妙子（鏡町）

【選者特選】

前山光則選

おもむろに箸動かして初秋刀魚

上野悦子（日奈久東町）

すくいたい金魚は水にとけるよう

岩本涼花（八代第一中三年）

【秀作】

—— 一般の部 ——

生かされて今年も九月は山頭火

大野敬子（玉名市）

秋の蚊の影もつつさず海鼠壁

畑田孝子（美里町）

力 幸子（菊陽町）

【入選】宇野木邦子（熊本市）真木文子（八代市）清水明美（八代市）上村益穂（熊本市）松本妙子（玉東町）

—— ジュニアの部 ——

【秀作】

風鈴にらられてその場立ち止まる

瀬戸口詩季（千丁中三年）

一周忌去年と同じ雪景色

松下佳聖（鏡中三年）

流星や夜を置いてけ鬼ごっこ

吉田稀心（八代第七中三年）

【入選】小野菜々美、灰本鳳我、橋本歩季（以上八代第一中三年）清水美和、清水亜美（以上千丁中三年）

投句数はジュニアの部434句、一般の部159句でした。

【絵手紙入賞作品】

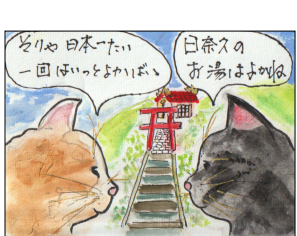
【特選】



北田一幸（上野町）



山本翔太（八千杷小5年）



藤浦裕一郎（宮地町）



楠原なぎさ（水俣市浜）



黒木誠子（鹿兒島市谷山中央）



八代～日奈久温泉間復旧おめでとうございます！念願の初乗車の日に間に合って良かったです。では、山頭火が愛した温泉を楽しめます。（駅ノート・聖地巡礼ノート 絵師カワイノスキー）

駅ノートから

【佳作】秋野育子（二見町）今福和歌子（古城町）岡下実生（弥生町）角義雄（宮地町）澤村俊子（大福寺町）谷口重子（竹原町）谷口慎一（鷹辻町）米本邦子（竹原町）福嶋アイ子（千丁町）中村直子（菊陽町）新居巧（大阪府枚方市）猪原和佳奈（日奈久中3年）木もとさき（日奈久小1年）亀山瑠那（八千杷小6年）中田帆音（奈良市佐保台小4年）応募点数 一般50点 子供（中学生以下）29点 計79点

作品展は10月11日～19日はホテル潮青閣で、20日～24日は日奈久郵便局で開催しました。

【審査評から】

今年は山頭火を描いた作品がとてもなく、ちょっと寂しかったですが、もともと自分たちの町の魅力を知り、一枚のハガキの中に住む人の声、温泉の音、町の雰囲気など、現地に行つて五感で描いたら最高だと思います。

赤ちゃん土俵入りに歓声

盛り上がった日奈久阿蘇神社秋季例大祭

10月14・15日日奈久阿蘇神社秋季例大祭が執り行われました。14日の前夜祭は直前に強い雨が降りましたが、請前の塩南町の皆さんの対応が素晴らしい、無事に開催されました。本祭でも子供神輿や奉納太鼓、相撲大会、赤ちゃん土俵入りなど多彩な催しで盛り上がりしました。

14日の前夜祭は実行委員長長木村哲也氏の挨拶で始まり、みずほ保育園園児の踊りや太鼓演奏、山口なおさん他の歌、日奈久舞踊の会の皆さんの踊り、小・中・高校生のダンス、米原麻衣さんの踊りで賑わいました。小・中・高校生のダンスが迫力があり、日本舞踊の静かさと対照的で楽しませてくれました。



15日の本祭は午前9時から神事が厳かに行われ、園児の奉納神輿、秀岳館高校奉納太鼓で盛り上がりまし



自然と一体化して感動しました。

屋食前の赤ちゃん土俵入り、今年は12人の参加でした。今年は泣き出す赤ちゃんが少なく、にこやかな表情が見られました。沖縄から参加したのは山本一樹さんのひ孫でした。屋からは日奈久小中生の相撲大会です。慣れない相撲をみんな一生懸命



元気な赤ちゃん土俵入り



命頑張っていました。先生方のご協力にも感謝です。最後はお楽しみの抽選会です。小・中学校も参加して歓声が上がりました。2日間を通して司会の山下亜矢子さん、請前の塩南町の皆さん、氏子総代の皆さん準備から後片付けまでご苦労様でした。